



目 次

I. はじめに	1
II. 港湾の道路に関する基準の変遷と課題	2
1. 港湾の道路に関する基準の変遷	2
1.1 港湾の施設に関する技術基準の変遷	2
1.2 港湾構造物設計基準(昭和42年)における概要	2
1.3 港湾の施設の技術上の基準・同解説(昭和54年)における港湾の道路に関する概要	2
1.4 港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成元年)における概要	2
1.5 港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成11年)における概要	3
2. 港湾の道路に関する計画基準としての課題	3
2.1 基準における用語としての「港湾の道路」の統一化	3
2.2 港湾の道路における設計基準交通量の根拠の明確化	3
2.3 港湾の道路における発生集中交通量の推計方法の明確化	4
2.4 港湾の道路における車線数の決定方法の明確化	4
2.5 残された課題に対する本研究での対応	4
参考文献	4
III. 港湾の道路における設計基準交通量の設定根拠	5
1. 道路における設計基準交通量の設定	5
1.1 道路における設計基準交通量の設定の考え方	5
1.2 交通容量および交通量を表す単位	5
1.3 交通容量の概念	5
1.4 交通容量の算定対象箇所	6
1.5 交通容量への影響要因	7
1.6 道路の設計基準交通量の設定方法	7
2. 港湾の道路における設計基準交通量の設定	8
2.1 港湾の道路における設計基準交通量の設定の考え方	8
2.2 港湾の道路の設計基準交通量における単位	8
2.3 港湾の道路の設計基準交通量における種類と区分	9
2.4 港湾の道路における基本交通容量の設定	9
2.5 港湾の道路における可能交通容量の設定	9
2.6 港湾の道路における設計交通容量および設計基準交通量の設定	15
参考文献	16
IV. 港湾の道路における発生集中交通量の推計方法	17
1. 推計の基本的な考え方	17
2. 物流に関連する年間発生集中交通量の推計方法	17
2.1 港湾取扱貨物量(F T単位)に基づく推計方法(コンテナ貨物以外の場合)	17
2.2 コンテナ港湾取扱個数(T E U単位)に基づく推計方法(コンテナ貨物の場合)	18

2.3	各係数の設定のための実態調査の概要	19
2.4	各係数の算定根拠	19
2.5	%マイル値を用いた場合の推計値に対する検証	21
3.	港湾の立地産業に関連する交通量の推計方法	21
3.1	全国貨物純流動調査(物流センサス)での原単位による推計方法	21
3.2	臨海部事業所交通流動調査に基づく推計方法	23
3.3	大規模開発地区関連交通計画マニュアルに基づく推計方法	24
3.4	原単位の比較評価	24
4.	緑地・マリーナ・その他の施設等に関連する交通量の推計方法	25
4.1	緑地に関連する交通量の推計方法	25
4.2	マリーナに関連する交通量の推計方法	25
4.3	フェリーに関連する交通量	25
4.4	その他の施設に関連する交通量	26
	参考文献	26
V.	港湾の道路における車線数の決定方法	51
1.	車線数設定の基本的な考え方	51
2.	計画日交通量の推計	51
2.1	4段階推計方法の概要	51
2.2	港湾の道路への4段階推計手法の適用の考え方	52
2.3	発生集中交通量の日単位交通量(年平均日交通量)への変換手法	52
2.4	周辺地域全体における将来交通量推計に際しての配慮事項	53
3.	計画日交通量に基づく計画時間交通量の推計	54
3.1	計画時間交通量の算定方法	54
3.2	K_{30} 値の推計方法	54
4.	車線数の決定方法	55
4.1	2車線(往復)に対する判断	55
4.2	多車線(片側2車線以上)の車線数の設定方法	55
4.3	D値の推計方法	56
	参考文献	56
VI.	おわりに	74
	謝辞	74
	資料2-1	75
	資料2-2	78
	資料2-3	81